



おくに

2014
11
NO. 721





～熱々の秋の味覚を堪能～

10月4日、総合センターで開催された白い森子ども体験教室「だがしや楽校」では、一斗缶に石を敷き詰めて焼きイモづくりを体験。参加した子どもたちは、熱々の焼きイモにかぶりつきながら、秋の味覚を堪能しました。

特集

防災と減災

「災害は忘れたところにやってくる」といわれますが、近年は、全国各地で自然災害がたびたび発生しており、いつどこでどのような災害に遭うか予測できません。自然災害は、人の力でくい止めることはできませんが、日ごろの備えが被害を減らす減災につながります。今月は、町内で行われている防災・減災への取り組みなどを通じて、一人ひとりの自然災害への「備え」の重要性を考えます。

多発する豪雨災害

近年、台風や火山噴火など、自然災害が全国で相次いでいます。特に集中豪雨による洪水や土砂崩れなどの被害が多発しています。8月には、広島県広島市で、1時間に100ミリを超える猛烈な雨が降り、広い範囲で土砂災害が発生し、70人以上が犠牲となりました。

本県でも、7月に置賜地方の広い範囲で激しい雨が降り続き、南陽市や長井市、白鷹町などで、家屋の浸水や水田・道路の冠水、土砂崩れなどが発生しました。昨年7月の豪雨災害に続き、2年連続の被害となりました。

昭和51年から平成18年までの間、気象庁が観測した1時間降水量50ミリ以上の「非常に激しい雨」の発生回数を比べてみると、年々増加傾向にあることがわかります（表1参照）。

こうした自然災害から私たちの生活を守るため、これま

特集 防災と減災

以上に日ごろからの備えが重要といえます。

防災に向けた町の取り組み

町では、町域における土地の保全と住民の生命、身体および財産を保護することを目的に、小国町防災会議を踏まえて「小国町地域防災計画」を策定しています。同計画では、風水害や地震などといっ

た自然災害等に対する予防対策や災害が発生した際の対応、その後の復興の方針が示されています。

この計画に基づき、さまざまな災害対策に取り組んでおり、豪雨・土砂災害関連では、国や県、消防、警察などと合同で、町内の土砂災害警戒区域の現地調査を実施し、情報の共有化を図っています。また、激甚化する災害に対応していくため、今年度、被害が想定される範囲を地図化した、新たなハザードマップ作成に向けた基礎調査に取り組み、危険箇所再確認や避難所等の位置づけの整理を進めています。

さらに、災害からの被害を最小限にするためには、気象情報や避難情報を迅速かつ的確に住民に伝えることが最も重要です。そのため、より確実に情報を伝達できる「災害情報伝達システム」の構築を目指し、具体的な調査に取り組んでいます。加えて、高齢者や障がいを持つ方がたなどで、災害が発生した際、一



土砂災害警戒区域の現地調査（折戸地区）

人で避難するのが困難な災害時避難行動要支援者の名簿作成などを進めるとともに、見守りや支援体制の整備を図っていくこととしています。

自分と家族を守るために

豪雨や地震などの大規模な災害が発生すると、同時に複数箇所被害が発生したり、公的機関やその職員も被災したりする可能性があります。町や消防などの迅速な救援が難しい場合が考えられます。

6400人以上の死者・行方不明者を出した平成7年の「阪神・淡路大震災」では、

地震によって倒壊した建物から救出され生き延びることができた人の約8割が、家族や近所の住民等によって救出されており、消防や警察、自衛隊などの「公助」によって救出されたのは約2割しかいなかったという調査結果が出ています。自らの安全は自らが守る「自助」の考えのもと、自分や家族、財産を守る備えと行動が重要となります。

また、実際に災害により避難し、避難所等で生活を送る場合は、個人や各家庭の状況などにより、必要な物資が異なってきます。特に、乳幼児など小さなお子さんがある家庭では、さまざまな生活用品が必要となります。本町出身で、現在は宮城県仙台市で暮らしながら、「NPO法人日本防災士会／防災士会みやぎ」の「防災士」として、主に乳幼児親子を対象に防災や減災に関する講座などを行っている佐藤美嶺（みね）さんは次のように話してくれました。「小さな子どもは、我慢が



NPO法人日本防災士会
／防災士会みやぎ
佐藤美嶺さん

では、佐藤さんを講師に迎え、子育てサポーターや乳幼児の母親向けの講習会を開催しました。参加者からは、「災害時、自分の家族は何が必要になるのか考えて備蓄したい」などの声が聞かれました。

地域の安全は地域で守る

近隣住民が、互いに協力し助け合って自分たちの地域を守ることを「共助」といいます。災害発生時に、「公助」による救助や支援が到着するまでの間、「自助」に基づく行動とともに、地域で力を合わせ対応することが大切です。

一方で、少子高齢化や核家族化の進行、単身世帯の増加などの要因によって、地域社会のつながりの希薄化が懸念されています。しかし、地域の中には、災害時要支援者も暮らしており、こうしたかたがたを守るための仕組みづくりの必要性が増してきています。

近年は、自分たちの地域は自分たちで守ることを目的に、

～日ごろの備えと避難時の心得～

① ハザードマップなどで避難所までの経路をあらかじめ確認しておきましょう。（ハザードマップは町ホームページからも確認できます）



② 食料や飲料水、懐中電灯や携帯ラジオのほか家族内で必要なものなど非常用品を用意しましょう。

③ テレビやラジオなどで正確な気象情報の収集につとめましょう。

④ 避難所へは安全で動きやすい服装（ヘルメット、運動靴の着用など）で避難しましょう。



⑤ 単独行動はひかえましょう。また、近所の高齢者や子ども、病人などの避難に協力しましょう。



栄町親興会副会長
齋藤 隆さん

練が実施された栄町一地区住民で結成する栄町親興会では、自主防災組織結成に向けた取り組みを進めています。同親興会の齋藤隆副会長は、次のように話してくれました。

「栄町親興会では、災害時



栄町地区を会場に開催された総合防災訓練

要支援者や河川などの危険箇所を把握するため、独自のマップ作成を進めています。これをもとに、誰がどういった役割や行動をとるべきかを事前に決め、いざ災害が発生した場合に行動できるよう取り組んでいます。また、災害は昼夜を問わず発生する可能性がありますし、地震や豪雨など災害の種類によって対応が異なってくるので、昼と夜、それぞれの世帯状況の把握と対応方法の検討も進めています。こうした活動をもとに、自主防災組織結成を目指すとともに、結成後も地域で防災訓練を実施するなど、住民の防災意識の向上に取り組んでいきます。

砂防事業の重要性

今年の7月に発生した豪雨では、県内各地で多くの被害が発生しました。

一方、本町では、山形地方気象台小国観測所（大宮地内）で県内1位の24時間降水量221・5ミリを記録しながらも、人的被害や大きな災害は発生しませんでした。

本町では、昭和42年に発生した羽越水害を契機に、国が中心となってきたさまざまな治水対策が進められてきました。昭和44年には、荒川砂防工事事務所（現在の飯豊山系砂防事務所）が設置され、荒川水系の護岸工事や砂防堰堤（えんてい）工事を進めているほか、平成19年度には、横川ダムが完成し、荒川水系の治水能力が向上しています。

砂防堰堤は、災害時に流れ出る多量の土砂を貯め、土石流などから人命や家屋などを守る働きをします。全国的な豪雨による河川の氾濫や土砂災害などを受け、あらためて



玉川スーパー暗渠（あんきょ）砂防堤防（小玉川地区）

砂防・治水事業の重要性が見直されています。

飯豊山系砂防事務所の鈴木和弘所長は、砂防事業について次のように話されました。

「小国町を流れる荒川流域は、地質がもろいことから地滑り等が発生しやすいことに加え、降水・降雪量が多く、豪雨の際には土砂災害が発生



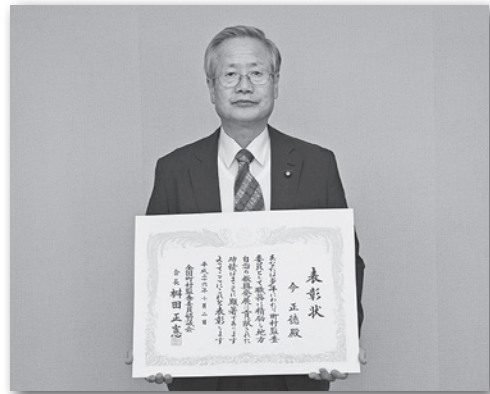
飯豊山系砂防事務所
鈴木和弘 所長

しやすい地域です。また、県が指定する町内の土砂災害等の危険箇所は203箇所、県内でも上位に属します。現在、町内には98基の砂防堰堤が設置されており、これまでの豪雨災害時には、土砂や流木を止めるなど、荒川に流入する土砂の抑制や人家を守るといった砂防事業の効果が発揮されていると思います。今後も、住民のかたがたがこの町で安心して暮らせるよう、計画的に砂防事業を展開していきます。

災害に強いまちづくりへ

自然災害は、いつどこで発生してもおかしくなく、完全に防ぐこともできません。だからこそ、皆さん一人ひとりが、そして地域が、日ごろから自然災害へ備える減災への取り組みが不可欠であるといえます。激甚化する自然災害に備え、「自助」と「共助」、「公助」が一体となって、災害に強いまちづくりを進めていくことが重要です。

今 正徳さん 全国町村監査功労者表彰を受賞



町議会議員で町監査委員の今正徳さん（小国小坂町）が、全国町村監査功労者表彰を受賞しました。

今さんは、平成15年5月から平成19年4月までと、平成23年5月から現在に至るまで、町監査委員として町の監査事務に精励し、町財政の効果的な運営と振興発展に貢献されています。

村上武さん 厚生労働大臣表彰を受賞



歯科医の村上武さん（栄町）が、国民健康保険関係功績者厚生労働大臣表彰を受賞しました。

村上さんは、昭和46年4月に村上歯科医院を開業されました。昭和54年9月から現在に至るまで、町国民健康保険運営協議会委員として国民健康保険事業の健全運営に尽力されています。

須貝芽生さん

愛鳥週間ポスターコンクールで

山形県知事賞を受賞



小国中学校2年の須貝芽生（めい）さん（あけぼの）が、平成26年度愛鳥週間ポスターコンクールで、応募作品271点のなかから特選の山形県知事賞を受賞しました。受賞作品のタイトルは、「一瞬の煌めき」です。

同校の美術部で活動する須貝さんは、「鳥が川の魚を捕まえる瞬間をとらえ、自然の豊かさと大切さが見る人に伝わるように描きました」と話してくれました。

町立病院内科に

菅原心平先生が着任



10月1日から、町立病院内科に菅原心平（すがはらしんぺい）先生が着任し、診療にあたられています。

新庄市出身の菅原先生は、山形大学を卒業後、山形大学医学部附属病院や日本海総合病院に勤務されてきました。

菅原先生は、「消化器内科が専門です。小国町は自然が豊かですし、人の温かさを感じます。診察を通じて、町民の皆さんの健康を守っていききたいと思います」と話してくださいました。



園児が自然の中で英語にふれた「英語の森」(5/20)

町長に就任して、3年目に入りました。これまで、「町民役のまちづくり」を基本理念に掲げ、基本政策の「人口1万人復活のまちづくり」を進めてきました。

そこで、これまでの2年間に総括し、今後の2年間を展望して、町議会9月定例会において所信表明を行いました。

これまででは、暮らしに寄り

～町長室便り～
雨ニモマケズ⁽²⁴⁾

不滅の法灯

盛田 信明



添う身近な課題を中心に、町民の皆さまの幸福感を高めるための施策の充実を図りました。具体的な内容につきましては、平成26年8月号の広報おぐに「町長室便り」を参照いただきたいと思います。そして、これからの2年間は、持続的な町の発展を目指した施策を強力に展開してまいります。

今年に入り、新潟山形南部連絡道路の計画段階評価に向けた調査への格上げや玉川第2発電所の建設に向けた動きなど、明るいニュースも多く聞かれます。

こうしたことを契機に、町の発展基盤となる社会資本の整備と雇用の創出に加え、産業振興や子育て支援と教育環境のさらなる充実、福祉や人工透析を含めた医療の拡充など、これまで以上に各方面に



運動を通じて交流を深めた高齢者体育大会 (9/30)

おける施策を推進していきま

す。

比叡山延暦寺の根本中堂には、1200年以上にわたって途絶えることなく灯つている**不滅の法灯**があります。天台宗を開いた最澄は、「明（あき）らけく 後（のち）の仏の御世までも 光りつたへよ 法のともしび」と詠み、この光には、後の世を永遠に照らしてほしいとの願いを込めたものと思います。「油断大敵」の語源のひとつでもあるといわれておりますが、「不滅の法灯」を消さないように、毎日「菜種油」を注ぎ足してい

る僧侶たちの緊張感と努力が伝わってきます。

今年は、新町誕生60周年、新たなまちづくりのスタートの年でもあります。

「NHK夏の巡回ラジオ体操・みんなの体操会」や「小国音頭民謡流し」では、老若男女問わず、町民の皆さんが心をひとつに躍動する場面に立ち会い感動しました。

新しい分野や未知の領域に踏み出すことは、常に難しく不安が付きまといまふ。しかし、勇気をもって一歩を踏み出せば、今までとは違う景色が見えてくるはずでふ。それが、「町民の幸せ」と「小国町の発展」になるのであれば、私はためらわずその道を進んでまいります。

これまでの先人・先達のまちづくりにかけた情熱と不断の努力に敬意を表し、町民の皆さまの英知を結集し一丸となつて、小国町発展と町民の幸せづくりのために全力を傾注する覚悟を新たにしました。

平成26年 第7回 小国町議会 臨時会

平成26年第7回小国町議会臨時会が、10月15日に開かれ、次の議案について可決されました。

町道幸町1号線外4路線道路改良工事請負契約の一部変更

町道幸町1号線外4路線道路改良工事について、防音側溝の設置に伴う既存側溝の撤去について、請負契約の一部を変更することとし、契約金額を1億238万4千円から1億622万9880円へ増額するとともに、工期を平成26年10月17日から平成26年11月28日へ延長することとした。

小国町鳥獣被害 対策実施隊を設置

鳥獣による農作物の被害防止や有害捕獲に従事するかたの身分補償を図るため、小国町鳥獣被害対策実施隊が結成され、10月1日、隊員へ委嘱書が交付されました。

同隊は、小国町猟友会（金熊太郎会長）の会員を中心に106人の隊員で構成され、町内全域を対象に鳥獣の追払いや出没調査などを行い、被害の軽減を図っていくこととしています。



平成26年度採用 町立病院看護師を募集

～募集人員を満たすまで募集を継続します～

■職種と募集人員 看護師 若干名

■受験資格

昭和49年4月2日以降に生まれたかたで、看護師資格を取得しているかた（40歳以下）

■試験内容

作文試験、面接試験

■試験および採用日程

＝11月中申込みの場合＝

- ・申込締切 11月30日(日)
- ・試験日 12月10日(木)頃を予定
- ・採用日 2月2日(月)頃を予定

■その他

詳しくは町、または町立病院のホームページをご覧ください。

■問合先

町立病院（☎61-1111）へ

地域学習サポーターを募集します！

町では、今年度新たに設置した「白い森学習支援センター」において、小中高校生のさらなる学力向上を目指す学習の場を提供していきます。そこで、同センターで学習指導を行う「地域学習サポーター」を募集します。

- 活動内容 子どもの学習サポート
- 指導対象 町内の小中高校生
- 日時 1月以降の土曜日、日曜日、長期休業等のうち半日程度
- 活動場所 総合センター等
- 募集対象 小国町在住のかた（元教員や塾等での指導経験者歓迎）
- 募集期間 11月4日(火)～12月5日(金)
- その他 白い森学習支援センターで定めた謝金を準備しております。

■申込先

白い森学習支援センター推進協議会事務局
（教育委員会内☎62-2141）へ

小学校入学前のお子さんをお持ちの保護者の皆さまへ

..... 「子ども・子育て支援新制度」が始まります

子ども・子育て支援新制度とは？

平成24年8月に、日本の子育てをめぐるさまざまな課題を解決するために「子ども・子育て関連3法」ができました。子ども・子育て支援新制度は、子育てを社会全体で支えることを目指した制度です。



保育の必要性の認定を受けてください

子ども・子育て支援新制度では、保育所を利用する場合、町に認定申請し『認定証』の交付を受けなければなりません。

■保育の必要性の認定について

次の保育を必要とする事由に該当しなければなりません。

- ①就労（フルタイム、パートタイムなど）
- ②妊娠・出産
- ③保護者の疾病・障害
- ④同居または長期入院等している親族の介護・看護
- ⑤求職活動（起業含む）
- ⑥就学（職業訓練校等における職業訓練）等

■保育を利用できる時間について

就労を理由とする保育所の利用の場合は、次のいずれかに区分されます。

- ①保育標準時間利用（最長11時間）
「週30時間、月120時間以上」の勤務の場合
- ②保育短時間利用（最長8時間）
「月48時間以上120時間未満」の勤務の場合

■保育所の優先利用について

新制度において、ひとり親家庭、生活保護世帯、生計中心者の失業等の場合は、保育所の優先的な利用が必要であると判断されます。

手続きの流れ

町に「保育の必要性」の認定申請を行います。
※入所申込も同時手続可

「認定証」を交付します。

保育所の入所希望の申込をします。

「利用決定書」を交付します。

▷現在、保育所に入所している子どもさんについても、手続きが必要になります。

※詳しい手続きの方法やスケジュールについては、広報おぐに12月号でお知らせします。

■問合先 健康福祉課児童福祉担当（健康管理センター内 ☎ 61-1000）へ

新町60周年記念

ふるさとおぐに

フォトコンテスト

作品を募集しています！

本町では、今年、新町60周年を迎えたことを記念し、四季折々の風景や人々の暮らし、地域に伝わる伝統行事など、ふるさとおぐにをテーマとしたフォトコンテストを開催しており、現在、作品を募集しています。美しく輝く「おぐに」を捉えた作品をご応募ください。

■題材 山岳や植物などの自然資源や地域行事、史跡等

■作品規格 カラープリントで四ツ切り判、四ツ切りワイド判、A4サイズ

■応募締切

平成27年1月31日(土)

※当日消印有効

■その他 詳細は、町ホームページをご覧ください。

■応募・問合先

産業振興課商工観光室
(☎ 62-2416) へ



これまでの練習の成果を全国の舞台で発揮 ～高橋耕平さんと安部雅也さんが全国大会へ出場～



新潟大学3年
高橋耕平さん



米沢中央高校3年
安部雅也さん

新潟大学3年の高橋耕平さん(伊佐領出身)が、9月27日と28日の2日間にわたって東京都で開催された、「平成26年度全日本学生柔道体重別選手権大会」の男子81キロ級に出場しました。高橋さんは、惜しくも初戦で敗れはしたものの、力強い戦いぶりを見せてくれました。

また、米沢中央高校3年の安部雅也さん(小股出身)が、10月18日から21日までの期間、長崎県で開催された、「第69回国民体育大会長崎がんばらんば国体」のバレーボール少年男子に県選抜選手として出場しました。同チームは初戦で敗れましたが、安部さんはリベロとして活躍し、貢献しました。

森林資源の大切さを学ぶ ～白い森づくり体験事業「間伐教室」～



白い森づくり体験事業「間伐教室」が、10月4日に開催され、小国小学校5年生の児童とその保護者など約160人が参加しました。これは、子どもたちに森林の持つ機能と整備の必要性について学んでもらおうと町が主催したものです。

同教室では、児童が黒沢地内の国有林で枝払い作業を体験したほか、健康の森横根において葉っぱスタンプづくりやスタンプラリーに挑戦しました。児童と保護者は、森林とのふれあいの時間を楽しむとともに森づくりの大切さについて意識を高めました。

おぐにスポーツクラブYuiが やまがた公益大賞を受賞

子どもから高齢者までを対象にスポーツの機会の提供と健康づくり活動などを展開する、NPO法人おぐにスポーツクラブYui(舟山孝夫理事長)が、「やまがた公益大賞」を受賞しました。

これは、優れた公益活動を行う団体を表彰するもので、県内9団体が活動発表を行い選出されました。同クラブが行う運動習慣の推進や介護予防活動のほか、多種目体験型のスポーツ少年団などの取り組みが評価されての受賞となりました。



未整備区間の早期事業化を目指して ～置賜地域道路整備促進大会～



置賜地域道路整備促進大会が、10月14日、長井市で開催されました。置賜3市5町で構成する置賜総合開発協議会が主催したもので、当日は、住民や関係者など約450人が参加しました。

大会では、国土交通省山形河川国道事務所長による講演や住民の意見発表が行われ、新潟山形南部連絡道路をはじめ国道113号、287号といった道路の未整備区間の早期事業化を要望する大会宣言を全会一致で採択しました。

歴史を感じ絆をつなぐ ～CONNECT2014 黒沢峠～

「CONNECT（コネクト）2014 黒沢峠」が、10月18日、黒沢峠お祭り広場を中心に開催されました。これは、町の文化財である黒沢峠を活用し、イベントを通じて人と人とのつながりを広げ地域を盛り上げようと、CONNECT実行委員会（鈴木孝明会長）が主催した野外音楽イベントで、今年で7回目の開催となります。

イベントでは、町内外から集まった約30組のアーティストによるライブが行われたほか、黒沢峠の散策などが行われました。集まった多くの観客は、黒沢峠の歴史を感じながら音楽と自然を楽しんでいました。



シリーズ 協力隊通信 ⑥

「感動の共有」

第21期 緑のふるさと協力隊
宮本 史人



二人でハケゴ編みに挑戦

近頃、日の入りは早くなり、朝晩は冷え込みが激しくなってきました。そんな中で色付き始めてきた紅葉の美しさに感動しています。

さて、10月1日から5日の間に、「若葉のふるさと協力隊」を実施しました。これは、自分の派遣元組織である地球緑化センターが実施している短期間の農山村体験プログラムです。今回は東京から、門坂優介君(19歳)1名が参加してくれました。小国町に移住されたかたとの交流や古田歌舞伎の練習見学、ハケゴづくり、キノコ採り、クリ拾いなどを体験してもらいました。門坂君が一番印象に残ったことは、キノコ採りとそのキノコを使った料理だそうです。「山をスイスイ登っていく地元のかたのパワーに驚いた。採れたてのキノコ、本当に美味しかった」。キノコ採りは本人が想像していたよりも格段に大変だったとのことですが、それゆえ採れたときの喜び、そして美味しさは格別だったようです。

小国に来て、びっくりすること、感動することがたくさんあります。高齢者のたくましさ、自然相手の厳しさ、熟練の技。そういった感動を門坂君にも共有してもらえたようです。小国には、学ぶことがたくさんあります。

ご案内

小国高校地域文化化学研究発表会

「地域文化学」の研究
成果を生徒が発表します。

■日時 11月18日(火)

午後1時20分～午後3時10分

■場所 小国高校体育館

■問合先 小国高校

(☎62・2054)へ

小国高校活動報告会

小国高校のさまざまな活動
の成果を生徒が発表します。

■日時 11月21日(金)

午後6時15分～午後7時30分

■場所 総合センター

■問合先 小国高校

(☎62・2054)へ

白い森杯柔道大会2014

■期日 11月29日(土)午前9時～

■場所 町民体育館

■内容 中学生男女団体戦、
山形新潟県選抜対抗戦(11

月30日(日)合同練習会)

■その他 昼運びや畳敷き等
の会場設営ボランティアを
募集しています。

①11月27日(木)午後6時～
②11月28日(金)午後5時～

■受付・問合先 白い森杯柔道大

会2014実行委員長 多勢

(☎090・2799・7951)へ

排水設備工事責任技術者の 登録更新手続きの受付

■該当者 登録有効期限が平

成27年1月31日までのかた

■必要な手続き

①登録更新の申請

②更新講習会の受講

■申請期間

11月4日(火)～11月28日(金)

■受付・問合先

地域整備課建設管理室

(☎62・2431)へ

温水プールの休館について

設備点検等のため、次の期
間温水プールを休館します。

■休館期日

11月29日(土)～12月2日(火)

■問合先 おぐに白い森(株)

(☎62・4518)へ

山形空港応援ウィーク

小国町にお住まいのかた
で、次の期間、山形羽田便、
または山形名古屋便を利用す

町内の空間放射線量をお知らせします。

～いずれの場所の数値も人体に
対して影響のない水準です～

■10月20日(月)の空間放射線量

測定場所	測定値 ($\mu\text{Sv/h}$)
旧北部小中学校 グラウンド	0.08
旧沖庭小学校 グラウンド	0.07
旧小玉川小中学校 グラウンド	0.07
旧玉川小中学校 グラウンド	0.09
小国小学校 グラウンド	0.08
叶水小中学校 グラウンド	0.08
旧伊佐領小学校 グラウンド	0.08
旧白沼小中学校 グラウンド	0.07

※測定値は地上から50cmの高さの値
で、単位は1時間あたりのマイクロ
シーベルトです。

■問合先
町民税務課町民生活担当へ

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅小坂町団地》

3DK 1戸(4階)

《町営住宅あけぼの団地》

3DK 1戸(2階)

■家賃 所得と家族構成による

る場合、往復5000円(片
道の場合2500円)の助成
を受けられます。(事前申込・
先着順) ※対象期間以外にも
助成となる場合があります。

■対象期間

11月29日(土)～12月5日(金)

■問合先 総務企画課地域振

興室(☎62・2264)へ

健康づくり講習会

■日時 12月2日(火)

午前10時～午後3時

■場所 健康管理センター

■内容 健康づくりのための
食・運動に関する講話、調

理実習、軽体操

■参加費 無料

■申込期限 11月17日(月)

■申込・問合先 健康福祉課

(☎61・1000)へ



※日程が変更になる場合は、アスモ掲示板でお知らせします。

11月の保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 11月28日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成26年7月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 11月28日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成25年11月生まれ

■2歳児歯科健診

- ・期 日 11月26日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成24年3月、4月、5月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センターへ

☆あそびの広場☆
■日時 11月4日(子育て講座・山形の郷土料理を楽しむ)、11日、18日、25日(4日は健康管理センターで開催)
■対象者 0歳から入園前の子さんとお家のかた

☆ななかよし広場☆
■日時 【毎週月曜日・木曜日】午前9時30分~11時30分 午後1時~3時30分
 ※第2、4木曜日の午後は休み
【毎週火曜日】 午後1時~3時30分
■対象者 0歳から入園前の子さんとお家のかた

★おぐに子どもの日まつり★
■日時 11月8日(土) 午前9時~12時
■場所 健康管理センター
■内容 良い歯の表彰、うたみっくで遊ぼう、だがしや楽校等
■対象者 おおむね2歳から小学3年生までのお子さんとお家のかた

☆赤ちゃん広場☆
■日時 11月13日、27日 午後1時~午後3時30分
■対象者 生後4カ月から18カ月のお子さんとお家のかた
■各広場の開催場所 子育て支援センター(おぐに保育園内)

子育て支援センターから

求 人 情 報

右の表は10月23日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2014.11

11月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

●11月26日(水) 水道料

●12月1日(月) 国民健康保険税、後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料等

■問合先

町民税務課税政管理室へ

事業所名	職 種	求人数	勤 務 時 間
(株) 横 川 建 設	重機オペレーター見習い	2人	8:00~17:00
	現場管理 (1級土木施工管理技士)	1人	8:00~17:00
	現場管理 (2級土木施工管理技士)	1人	8:00~17:00
	営業【急募】	1人	8:00~17:00
	営業見習い【急募】	1人	8:00~17:00
	配送運転手	2人	8:00~17:00
	事務員	2人	8:00~17:00
ア ク サ 生 命 保 険 (株) 長 井 営 業 所	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ【経験者】	3人	9:15~17:00
	商工会議所・商工会共済・福祉制度推進スタッフ	3人	9:15~17:00
斎 藤 建 設 (株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
第一ホール小国店／ (有) コンズカンパニー	ホールスタッフ【急募】	1人	8:30~16:15他
安 部 工 業 (株)	型枠大工	1人	8:00~17:00
	一般作業員	1人	8:00~17:00
(有)横川自動車整備工場	自動車整備工	1人	8:30~17:30

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

～元気なまちづくり講演会～

- 日 時 12月18日(木) 14:00~16:00
 ■場 所 総合センター
 ■講 師 慶応義塾大学教授 片山善博氏
 (元鳥取県知事、元総務大臣)
 ■演 題 「人口減少社会と地方の再生」
 ■問合先 総務企画課政策企画室(☎62-2264)へ

「クリスマスリース&ツリー作り体験」

木の実やつるなど、森にある自然素材を使ってクリスマスリースやツリーを作ります。

- 日 時 12月6日(土) ■持ち物 汚れてもいい服装
 9:30~12:00 エプロン、手ふきタオル、剪
 ■場 所 総合センター 定ばさみ(お持ちのかた)
 ■参加費 500円 ■申込締切 12月3日(木)まで
 ■申込・問合先

NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊(☎62-5955)へ

11月の あいベイベント

第6回 Yui わいわいスポーツ祭



- 日 時 11月8日(土) 9:00~
 ■内 容 ①パークゴルフ大会②ノルディックウォー
 キング③ニュースポーツ体験
 ■集合場所 ①水源の郷交流広場パークゴルフ場
 ②あいべ駐車場③あいべ内(内履き持参)
 ■参加費 大人 会員300円 非会員500円
 子ども 会員200円 非会員300円
 ※荒天時はあいべ内での開催となります。
 ■申込・問合先 **おぐにYui** (☎62-5808)へ
 スポーツクラブ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

- | | |
|--------------------|-----------|
| ◇恐怖の病原体図鑑 | トニー・ハート |
| ◇あなたがここに生まれてきた理由 | 木村 藤子 |
| ◇近世以前の土木・産業遺産 | 馬場 俊介 |
| ◇雨のことば辞典 | 倉嶋 厚 |
| ◇かもめのジョナサン | リチャード・バック |
| ◇信州おばあちゃんのおいしいお茶うけ | 大平 一枝 |

相 談

▽年金相談

- 日 時 11月19日(水)
 10:30~14:00
 ■場 所 役場町民相談室
 ■対応者 米沢年金事務所職員
 ■申込み 事前に申込みが必要です。
 ■申込・問合先
 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

- 日 時 11月19日(水)
 10:00~12:00
 ■場 所 役場和会議室
 ■対応者 町人権擁護委員
 ■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談会

訪問販売や電話勧誘の相談もお受けします

- 日 時 11月22日(土)
 10:00~15:00
 ■場 所 役場雇用相談室
 ■対応者 司法書士 舟山健蔵氏
 ■申込み 申込みが必要です。(当日可)
 ■申込・問合先
 町民税務課町民生活担当へ

▽行政相談

- 日 時 11月8日(土)
 10:00~12:00
 ■場 所 役場
 ■対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏
 ■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽弁護士無料法律相談

- 日 時 12月5日(金)
 10:00~15:00
 ■場 所 総合センター
 ■対応者 町顧問弁護士
 ■申込み 11月29日(金)まで申込み
 ■申込・問合先
 町民税務課町民生活担当へ

住宅リフォーム総合支援事業費補助金 ～申請受付を再開します～

「住宅リフォーム総合支援事業費補助金」について、申請受付を締め切っていましたが、山形県の補助金が追加となったため、11月7日(金)から申請受付を再開します。

- 問合先 地域整備課建設管理室へ



- 小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464
- 行政管理室 ☎62-2112
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 農林振興室 ☎62-2408
- 建設管理室 ☎62-2431
- 政策企画室・地域振興室 ☎62-2264
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 建設技術室 ☎62-2432
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 会計室 ☎62-2406
- 議会事務局 ☎62-2448

水道の凍結にご注意ください

冬は、凍結による漏水が発生しやすい季節です。冬の備えとして凍結防止の対策をお願いします。

- ①水抜栓を使用する場合は、ハンドルを最後までしっかりと締めてください。
- ②長期間留守にする場合は、閉栓手続きをしてください。開栓・閉栓の際に、それぞれ700円の手数料を徴収しますが、水道基本料金(1,382円)程度の負担で予防できます。なお、閉栓しても宅内の水抜きが必要です。

■問合せ先 地域整備課建設管理室へ

除雪機械を貸し出します

大型機械での除雪が困難な歩道や生活道路等を対象に、ハンドガイド式小型除雪機械(35馬力)を貸し出します。

- 対象者(除雪を業とされるかたには貸与不可)
 - ・町に居住する2世帯以上で構成する任意団体
 - ・町長が特に認める個人または法人

■貸出台数 5台

■募集期間 11月4日(火)～11月14日(金)

■貸出期間 11月下旬～平成27年3月31日(火)

■申込・問合せ先 地域整備課建設管理室へ

秋の火災予防運動の実施について

平成26年度全国統一防火標語

「もういいかい火を消すまではまあだだよ」

秋の火災予防運動を、11月9日(日)～15日(土)までの7日間実施します。期間中は、午前7時と午後6時に役場の非常サイレンが鳴りますので、火災と間違わないようにしてください。

また、9日(日)午前9時から11時30分まで消防自動車火災予防のため町内を巡廻します。

■問合せ先 消防署小国分署(☎62-2154)

- JR米坂線踏切の冬期通行止め -

下記の踏切について、11月25日(火)から平成27年4月3日(金)まで通行止めとなります。(増岡踏切および西岩井沢踏切は3月26日(木)まで)

■全面通行止めの踏切

霜下踏切(綱木箱口)、松坂踏切(伊佐領)、木落踏切(町原)、滝沢踏切(日本重化学工業(株)前)、増岡踏切(幸町)、赤芝踏切(赤芝峡)

■車両通行止めの踏切

朝篠踏切(朝篠)、西岩井沢踏切(岩井沢)

■問合せ先 地域整備課建設管理室へ

入札結果情報(平成26年9月21日～10月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H26.9.24	小国中学校防球フェンス設置工事	岩井沢	H26.11.14	9,975,000	安部工業(株)	9,700,000
H26.9.24	小国小学校改築事業二の宮児童公園整備工事	岩井沢	H26.11.29	14,880,000	遠藤建設(株)	14,000,000
H26.9.25	平成26年度町岩地区流雪用水取水口流量観測業務委託	伊佐領	H27.3.27	2,231,000	新和設計(株)	2,200,000
H26.9.29	役場庁舎一次側温水循環ポンプ吸込管修繕	小国小坂町	H26.10.22	2,484,000	パイプライン	2,250,000
H26.9.30	平成26年度叶水地区耐震性貯水槽40m ³ 型整備工事	叶水	H26.12.12	6,211,000	(株)船山工務店	6,000,000
H26.9.30	平成26年度道の駅白森おぐに地区耐震性貯水槽40m ³ 型整備工事	小国小坂町	H26.12.12	6,252,000	玉川開発(株)	6,100,000
H26.10.10	平成26年度小国町防災行政通信システム整備事業基本設計業務委託	町内	H27.2.27	6,593,000	(株)無線放送設計事務所仙台支店	760,000
H26.10.10	平成26年度小国町ハザードマップ基礎調査業務委託	町内	H27.3.27	4,949,000	国際航業(株)山形営業所	4,690,000
H26.10.14	平成26年度小国町水道事業漏水調査業務委託	町内	H26.12.5	1,310,000	フジ地中情報(株)東北支店	1,250,000
H26.10.14	小国町公共下水道事業公共下水道管路調査業務委託	幸町他	H26.12.5	3,243,000	(株)アームズ東日本山形営業所	3,000,000
H26.10.14	ガス式スチームコンベクションオープン購入	あけぼの	H26.11.28	1,643,000	(株)中西製作所山形営業所	1,570,000
H26.10.14	小国中学校西側駐車場舗装整備工事	岩井沢	H26.11.28	4,997,000	遠藤建設(株)	4,900,000
H26.10.14	小国町多目的屋内運動施設西側通路舗装工事	栄町	H26.11.28	5,508,000	大和建設運輸(株)	5,350,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

誕生おめでとうございます。

五味 沢 関 ^{なおじろう}直次郎 (英 俊 麻 里)

あけぼの 木 村 ^{こうすけ}光 佑 (寿 人 亜 沙 美)

おくやみ申し上げます。

綱木箱口 今 登喜雄 (65)

玉 川 渡 邊 七 重 (99)

小国小坂町 齋 藤 ふぢよ (89)

松 岡 加 藤 松 雄 (89)

新 股 渡 部 長 一 (78)

幸 町 小 椋 カネヨ (90)

幸 町 岩 崎 良 造 (86)

北 中 島 て る (87)

緑 町 津 崎 ミサホ (91)

人口のうごき (平成26年9月30日現在)

人口 男・・・4,091人(－2)
女・・・4,287人(－4)
計・・・8,378人(－6)
世帯数 3,155世帯(0)

編集後記

この時期は、キノコ採りに行くかたも多いと思います。私のような素人には、山に生えているキノコを見つけても、それが食べられるのかどうかは見分けがつかない。「きれいなキノコには毒がある」、「良いにおいがあると食べられる」という話は本当なのか調べたところ、根拠は無いようです。現在、県内に「キノコ食中毒注意報」が発令されています。そうした迷信に惑わされないようご注意ください。(伊藤)

～ふるさとへの想い～

シリーズ①『小国の友人たちに感謝』

かなざわ たくや
金 沢 卓 哉 さん

東京都豊島区在住

東 原 出身



私は、高校、大学と小国を離れ、現在は東京都内で仕事をしています。大学時代は、ほとんど小国に帰らず、就職してから年1、2回帰る程度です。

そんな私ですが、帰省するたびに昔から変わらない友人たちが集まってくれます。そして、酒を飲みながらくだらない話で盛り上がります。そんな話をしていると、今こんなに楽しめているのは、「小国に残って、町を支えてくれている友人たちがいるからなんだなあ」と、ふとすることがあります。もちろん、友人たちだけでなく、家族や地域のかたがたも温かく迎えてくださるからこそ自分の帰る場所があり、楽しい時間を過ごせるのだと思います。

東京にいと、小国のように地域の人たちと接することはありません。だからこそ、小国の人の温かさや地域の繋がりをあらためて感じさせられます。小国に生まれ、多くの友人に出会い、今の自分がいることに感謝しています。

これからも、いつでも帰れるふるさと、温かみで溢れるふるさと小国であってほしいと思います。



昭和43年 おぐに開発総合センター完成

新町誕生60周年記念
写真で振り返る
「あの頃の我が町」